

SHINCHI 新地

2023 No.630

福 地方広 報



県内で1台だけ

消防水陸両用車に乗車して気分は消防士！



11月26日ふるさと産業まつりが開催され、相馬消防署に配備されている消防水陸両用車が展示されました。

(ふるさと産業まつり：6ページに関連記事)

新しい町議会議員を

紹介します

任期満了に伴う、町議会議員一般選挙の投票が11月12日、町内7か所の投票所で行われました。

今回の選挙は議員定数が12席に対し、13人が立候補しました。

即日開票の結果、新議員12名が決定し、翌13日には当選証書交付式が役場正庁で行われ、村上美保子町選挙管理委員長から一人ひとりに当選証書が手渡されました。

任期は令和5年11月20日から令和9年11月19日の4年間です。

町民の代表として町政に携わる新しい議員の皆さんを紹介します。(敬称略)



おおうち
大内 広行
ひろゆき
(51歳)

- ① 無所属
- ② 原相善
- ③ 会社員
- ④ 1回



てらしま
寺島 博文
ひろふみ
(65歳)

- ① 無所属
- ② 城内
- ③ 農業
- ④ 2回



いのうえ
井上 和文
かずふみ
(68歳)

- ① 日本共産党
- ② 中島
- ③ 自営業
- ④ 10回



うしさか
牛坂 毅志
つよし
(70歳)

- ① 無所属
- ② 小川
- ③ 行政書士
- ④ 1回



てらしま
寺島 浩文
ひろふみ
(61歳)

- ① 無所属
- ② 小川
- ③ 農業
- ④ 4回



やまき
八巻 秀行
ひでゆき
(73歳)

- ① 無所属
- ② 菅谷
- ③ 農業
- ④ 4回

- ① 所属党派
- ② 住所(地区)
- ③ 職業
- ④ 当選回数



三宅 みやけ
のぶゆき
信幸
(75歳)

① 無所属
② 作田
③ 農業
④ 4回



遠藤 えんどう
みつる
満
(73歳)

① 無所属
② 鉄炮町
③ 農業
④ 4回



水戸 みと
よいち
洋一
(70歳)

① 無所属
② 新地町
③ 自営業
④ 3回



村上 むらかみ
かつのり
勝則
(70歳)

① 無所属
② 新町
③ 無職
④ 1回



吉田 よしだ
ひろし
博
(74歳)

① 無所属
② 富倉
③ 無職
④ 4回



菊地 きくち
まさふみ
正文
(76歳)

① 無所属
② 岡
③ 農業
④ 9回

令和6年 新地町二十歳のつどい

町では、次のとおり二十歳のつどいを開催いたします。

- 日時** 令和6年1月7日(日)
13時～(受付:12時15分～)
- 会場** 新地町文化交流センター(観海ホール)
- 内容** 第一部 式典 第二部 記念行事
- 対象者** 平成15年4月2日～平成16年4月1日までに生まれた方で、町内在住または尚英中学校を卒業した方



※対象の方には、11月上旬に案内状を発送しておりますが、まだ出欠の報告をされていない方は、至急ご回答願います。また、新地町に転入された方やご結婚などで名字が変わられた方、案内状が届かない方は、新地公民館までご連絡ください。

※介添えなどが必要な方は、事前にご連絡ください。

※ご家族の席も用意しております。

◎問い合わせ 新地公民館(電話:62-2085)(FAX:62-2172)

三貫地貝塚里帰り展示

福島県立博物館資料展「活用アウトリーチ事業」

「三貫地貝塚の暮らしと縄文人」



▲泣く土面
(相馬高校所蔵)

◀遮光器土器



三貫地貝塚里帰り展示が新地町文化交流センター観海ホールで10月14日～22日までの9日間開催されました。

今回の企画は、福島県立博物館との共催で「資料展示活用アウトリーチ事業」を活用しての事業となりました。昭和63年に日本考古学協会から県立博物館へ移譲された三貫地貝塚の資料群や福島県立相馬高等学校の郷土部で収蔵している資料を里帰りさせることで、町民の皆様を始め広く多くの方に三貫地貝塚を知ってもらおうと企画したものです。

9日間の開催で延べ1,385名の来場があり、町外からも来場いただきました。



10月14日にはオープニングセレモニーの後に福島県立博物館専門学芸員の高橋満氏による記念講演が行われました。

記念講演では、新沼浦が干拓される前の状態や相馬地域開発に伴って調査された地質調査の結果から、縄文時代後期から晩期頃（現在から3,000年から4,000年ほど前）は、三貫地貝塚周辺は海の沿岸部が近くまでできていたことが分かり、山と海の大きな恵みが期待できる絶好のロケーションで、住むのに適した比較的広大な平坦地という好条件を兼ね備えていたとの解説がありました。

続いて土器や漁労、狩猟に使用された骨角器（シカの角や骨で作られた道具）について解説され、なかには狩猟中、誤って味方の矢に射られ、矢じりが刺さった状態の腰骨の話など危険で厳しい環境のなかでの生活であったこと。しかしそうした生活のなかでも、大きな耳環（ピアス）や貝を加工した腕輪、シカの骨を加工した腰飾りなどの装身具、おそらくは祭祀や儀礼に用いられたと考えられる相馬高校所蔵の土製のお面（写真：右上）、遮光器土偶（写真：右上）などが紹介され、豊かな文化を築いていたとの話がありました。

最後に、三貫地貝塚から出土した昭和27年の調査で確認された50体を超える人骨の埋葬方法について、多くの人骨の頭部が鹿狼山の山頂を向けて埋葬されており、鹿狼山を特別視していた可能性がある」と解説され、記念講演は幕を閉じました。

期間中には、町内の小中学生が地域学習の時間として、展示会と三貫地貝塚の現地を見学しました。

○三貫地貝塚の調査経歴と資料について
 三貫地貝塚は明治27年、相馬市中村の館岡虎三氏により発見され、その名が知られるようになりました。大正13年には福島県知事の依頼を受けて、日本考古学協会が調査を行い3体の人骨を確認しました。このことから三貫地貝塚は人骨が出

土する遺跡として名前が知られるようになり、昭和27年には、日本考古学協会の縄文式文化特別編年委員会によって学術調査がなされ、50体を超える人骨が出土し、全国的に有名な貝塚となりましたが、その後、諸般の事情が重なって、この時の詳細な報告がなされていないままとなっていました。

た。昭和61年に福島県立博物館が開館した際に、福島県を代表する貝塚として、常設展のメインに据えることを目的に、博物館が当時の資料を再整理、報告書を刊行したことで、多くの資料が日本考古学協会から博物館へ委譲される運びとなりました。



▲土器の欠片かどうかを確認してもらっている様子



▲大きな土器の欠片を発見！



▲記念講演講師の高橋満氏



▲真剣に説明を聞く児童達



▲感じたこと思ったことをメモしている様子

令和5年度福島特定原子力施設地域振興交付金事業

町では、令和5年度福島特定原子力施設地域振興交付金事業を活用して今回の企画展と町内にある文化財5か所に新しく看板を設置しました。
 この機会に、ぜひ町の文化財に触れ、ふるさとの歴史を探索してみてください。



▲新地貝塚
 (小川字貝塚西)



▲三貫地貝塚
 (駒ヶ嶺字田丁場・三貫地西)



▲あんこ地蔵
 (小川字二羽渡)



▲くるめがすりの家
 (福田字中里)



▲白幡のいちよう
 (駒ヶ嶺字白薄)

ふるさと産業まつり



新地の魅力ここに集結

新地町ふるさと産業まつりが11月26日、役場周辺を会場に開催され、多くの来場者が訪れ、にぎわいました。

会場では、新地町の特産品や海産物の販売、①農産物品評会、②毎年長蛇の列ができるニラキムチ鍋や③新米赤飯の無料配付、④ニラプレゼント、福引き抽選会などが行われました。

芸能発表やステージイベントでは、高田神楽・ブーストキッズダンス・⑤JAふくしま未来女性部の踊り・米山愛子、鮎川ゆき歌謡ショー・チカ&テツライブ・ウイングポップスなどの演奏が披露され、会場を盛り上げました。

体験コーナーでは、⑥木工クラフト体験や企業の体験ブースに親子で参加する姿がありました。ふるさと産業まつりの開催にあたりましては、準備、運営など様々な方々のお力添えにより開催することが出来ました。ご協力ありがとうございました。



同時開催された「健康福祉まつり」では①ボッチャ体験や②体力測定などが、③「保育展」では子どもたちの写真や絵画の展示が「図書館まつり」では、④読書感想画コンクール表彰式などが、⑤下水道展では模型展示などが行われました。

第35回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会

総合33位 **1UP**
(2022比較)

・町の部13位 **2UP**
(2022比較)

しらかわカタルスポーツパーク
(白河市総合運動公園) — 福島県庁前

記録「5時間55分54秒」



区間	選手名	タイム	通算順位
1区 (4.0km)	但野 紗弥	15分19秒	29
2区 (8.2km)	新妻 幹人	29分44秒	41
3区 (5.8km)	阿部 遥斗	20分15秒	35
4区 (7.3km)	高口雄太郎	27分14秒	37
5区 (6.4km)	穴澤 夢斗	22分32秒	38
6区 (8.3km)	渡部 雅也	30分40秒	40
7区 (5.4km)	荒 日向太	19分41秒	39
8区 (4.1km)	伊達 悠李	14分57秒	36
9区 (3.0km)	島 優実	13分06秒	36
10区 (10.6km)	木村 紘貴	35分52秒	34
11区 (3.9km)	但野 絢弥	16分26秒	33
12区 (7.0km)	宮本 大夢	25分31秒	32
13区 (4.8km)	柴田 諒翔	18分19秒	33
14区 (5.7km)	宮本流絆陽	21分55秒	32
15区 (3.4km)	菅野 美月	14分12秒	32
16区 (8.4km)	蛸原 弘修	30分11秒	33
計 (96.3km)		5時間55分54秒	



▲力走を見せた新地町の選手達

第35回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会(ふくしま駅伝)が11月19日、昨年より1.3km増えた96.3km区間のコースで開催されました。

強風が吹く中、新地町チームは、しっかりと走りを見せ、昨年より総合順位を1位、町の部で2位順位を上げ、沿道に訪れた多くの応援者からあたたかい声援が送られました。

(敬称略)



岩田経済産業副大臣来庁



町から要望書を提出

10月26日、岩田和親経済産業副大臣が町役場に来庁しました。大堀町長から町内での生鮮食料品購入機会の確保についてと新地町スマートコミュニティ事業の推進についての2点を要望書として手渡しました。

令和5年新地町総合教育会議

行政と教育機関で意見交換

10月25日新地小学校において、新地町総合教育会議が開催されました。平成27年4月1日に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部を改正する法律が施行され、全ての都道府県および市町村に首長が主宰する「総合教育会議」を開催することが義務づけられました。当町では、毎年10月頃に開催しています。

今年度は、新たな取り組みとして、大堀町長が新地小学校を視察をし、日頃感じている教育活動等に対して協議しました。



令和5年度学校給食優良団体・功労者表彰式

新地町食育指導部会が学校給食優良団体として表彰



学校給食優良団体・功労者表彰式が10月26日、杉妻会館（福島市）で行われ、新地町食育指導部会が学校給食優良団体に選出されました。

当団体は、食育スローガン「さわやかだ」を基盤とした食に関する指導の実践や、広報紙、ホームページ等を活用した様々な取り組みにより児童生徒の健康な身体づくりの改善を図っているところが称えられ、表彰されました。

町内通学路点検の実施

通学路の安全確保を目指して

町では、通学路の安全確保に向けた取り組みを行うため、10月19日に町・県・国・警察など関係機関が連携した通学路安全推進会議を開催しました。

各学校から改善要望のあった町内10箇所の現地視察行いました。その後の会議では、点検結果や改善要望への今後の方策について、各担当者から報告がありました。

今後も、関係機関と連携し、通学路の安全確保に向けた取り組みを行っていきます。



明治安田生命保険相互会社から寄附



町民の健康増進に寄与

明治安田生命保険相互会社いわき支社の佐藤力也支社長が10月23日に町に訪れ、大堀町長に寄附金を手渡しました。

寄附は今回を含めて3回目となります。いただいた寄附は、主に町民の健康増進のために活用させていただきます。

100歳賀寿贈呈式

森トミエさん（小川）満100歳

森トミエさん（小川）が10月24日に満100歳の誕生日を迎えられました。

百寿を記念して、町より賀寿賞状とお祝い金が、県より賞状と記念品が贈られ、長寿を祝いました。

長生きの秘訣は、家族で仲良く暮らすことだそうです。



令和5年度赤十字ボランティアのつどい

金色有功章が贈られました

日赤県支部の令和5年度赤十字ボランティアのつどいが10月17日に郡山市で開催され、新地町赤十字奉仕団副委員長の荒よし子さん（中里）、役員のエリス江さん（上真弓）が日本赤十字社より金色有功章を贈られ、10月23日に大堀町長へ報告しました。

荒さんと林さんは、20年以上奉仕活動を継続され、長年にわたり役員を務め、救急法講習会や防災への取り組みなどを通じて、赤十字活動の充実、発展に尽力されています。



第22回町老人クラブ連合会グラウンドゴルフ大会

スポーツの秋

第22回町老人クラブ連合会グラウンドゴルフ大会が10月24日、新地町総合公園陸上競技場で行われ、66名が参加しました。

大会では、ホールインワンが8回も出るなど、参加者たちは、日頃の練習の成果を十分に発揮し楽しんでプレーをしていました。

成績は以下のとおりです。

優勝 横山光江 準優勝 小泉キイ 第3位 斎藤賢一
第4位 神戸福嬉子 第5位 桜井憲政（敬称略）





第10回市町村対抗ソフトボール大会

新地町チーム ベスト16

第10回市町村対抗福島県ソフトボール大会が10月14日から相馬市の光陽ソフトボール場で行われ、新地町チームは初戦に矢祭町、2回戦に湯川村、3回戦に矢吹町チームと対戦しました。

矢祭町戦では、打線が好調で本塁打を放つなど8-0で完封勝利を収めました。次の湯川村戦でも投打がかみあい5-1で勝利しました。矢吹町戦では、先制点を上げるも追いつかれ点を取り合う好ゲームとなりましたが、逆転を許し2-5で敗れました。新地町チームは、2年連続ベスト16進出の好成績を収めました。



スポーツ激励金交付式



激励金を交付し健闘を祈る

11月9日に、町役場でスポーツ激励金交付式が行われ、大堀町長よりマスターズ甲子園2023第20回記念大会・全国高校野球OBトーナメント大会に出場する荒萌生選手に激励金が交付されました。

新地町文化芸術振興事業 ズーラシアンブラス音楽の絵本 JIVE AUTUMN コンサート

音楽を大いに楽しむコンサート

10月29日に、町文化交流センターでズーラシアンブラス音楽の絵本 JIVE AUTUMN コンサートが開催されました。

コンサートでは、194名の方が来場しました。

動物たちの楽しい掛け合いもありながら、定番のクラシックやジブリの曲などを演奏し、日本を代表するプロプレイヤーの本格的な音楽を楽しみました。



しんち 2023 文化祭

今年の活動成果を発表

11月4日、5日の2日間、町文化交流センターにおいて町文化協会主催の「しんち 2023 文化祭」が開催されました。

4日、5日の両日にわたり、絵画、郷土史料、書道、生け花、茶道等多くの作品等が展示され、来場者を魅了しました。

また、5日には、ステージ発表が行われ、楽器演奏、歌、踊りや舞等今年1年の活動の成果を発表し、来場者を楽しませました。



つるし HALLOWEENPARTY2023

ハロウィンイベントを楽しむ



10月29日に、釣師防災緑地公園こどもの広場で、つるし HALLOWEENPARTY2023 が開催され、約800人が来場しました。

イベントでは、かぼちゃおもしろ当てゲームや公園内にあるクイズを解いて風船をもらう「なぞなぞ探検ゲーム」、ワークショップなどが行われ、多くの来場者が楽しんでいました。

第43回福島県川柳賞

日常での思いを5句に

第43回福島県川柳賞の表彰式が11月11日に福島市で行われました。この賞は、福島民報社と県、県川柳連盟が主催したもので町からは、駒ヶ嶺小学校6年生の菊地 芽生咲さんと同小4年生の杉 絆愛さんが小学生の部で見事「児童奨励賞」を受賞されました。

菊地さんからは、「夏に行った家族旅行がとても印象に残っていたから」、杉さんからは、「学校の給食がとても好きだから」と日常で生まれた楽しかった出来事や好きなものを川柳で表現したことを話してくれました。作品は以下のとおりです。



▲左から菊地 芽生咲さん・杉 絆愛さん

菊地 芽生咲さん（家族旅行）

お父さん ハンドルにぎり ノリノリだ
お母さん スマホで道を 調べてる
お姉ちゃん スマホで写真 とっている
おばあちゃん 景色をながめ うかれてる
私はね 家族旅行が 大好きだ

杉 絆愛さん（おいしい給食）

四時間目 チャイムが鳴ると 給食だ
こんだて表 見たらみんなが もう笑顔
学校の 人気メニューの カレーだよ
ふと見れば 前もとなりも 完食だ
最高だ 給食大好き おいしいな

新地町 ICT活用発表会

11月10日(金)、町内各小中学校を会場に「令和5年度新地町ICT活用発表会」を開催しました。今年度は、4年ぶりの1日開催とし、200名以上の教育関係者が来町しました。研究テーマ「ICTの活用を通して、情報活用能力を活かし、課題を解決できる児童生徒の育成」に向け、各校が取り組んできた個別最適化された協働的な授業の提案や、全国ICT教育首長協議会特別顧問の毛利靖先生の講演会を行いました。参加者は、これからの時代を生き抜く力を育むICT教育について研修を深めました。

「自ら進んで学び続ける子ども」
～日常的なICTの活用による情報活用能力の育成を目指して～

福田小学校

福田小学校6年生の外国語科では、教室とイギリスに住んでいるALTのジョン先生の家族とをICT機器でつなぎ、日本固有の動物についてプレゼンテーションをしました。より相手に伝わる紹介するために学習者用デジタル教科書を活用して発音やイントネーションを確認したり、練習を撮影した動画を見て表情やジェスチャーを工夫したりと、主体的に学習に取り組んでいました。



「主体的・対話的で探究的な学びへとつなげる授業の工夫」～効果的なICTの活用の在り方を通して～

新地小学校

新地小学校4年生の社会科では、新地町に古くから伝わる伝統や文化について調べたことを、どのように発表するのか考えました。「人々の思いや願い」がよく伝わる発表にするために、Google Jamboard（ジャムボード）や思考ツールを用いて意見交流をしたり、直接新聞記者から記事の書き方や情報のまとめ方をアドバイスしていただいたりしながら活動しました。まとめたものは掲示等で町の皆さんにもお知らせする予定です。



「自分の思いや考えを広げ深める指導はどうあればよいか」～ICTの活用による言語活動の充実を目指して～

駒ヶ嶺小学校

6年生の総合的な学習の時間では、「新地プライド！」をテーマに、児童が計画立案したスケジュールに基づき、グループで動画作成に取り組んだり、Web会議ツールを活用し問題解決に必要な情報を集めたりしました。授業の後半では、授業の成果や、発表を見た感想を伝え合うことで、今後の見通しをもったり、新たな学びに生かそうとする意欲を高めたりする姿が見られました。



「対話を通して学びながら、自己の思考過程をまとめ表現できる生徒の育成」～基礎力の向上を基に情報活用能力を活かし、「考え」の形成と可視化につながるICT活用の在り方～

尚英中学校

1年生の理科では、大阪府豊中市立第一中学校とリモートでつなぎ、防災減災について意見交流を行いました。2年生の英語科では、誰にとっても生活しやすい学校にするための工夫について、1人1台端末を使いながら英語で表現する授業を行いました。また、3年生の技術科では、端末に導入した自動運転アプリを用いて、自動制御プログラムを作成し、実際に動作させながら協働的に課題に取り組みました。



図書館へ行こう

Let's go to Library

＝新着本・CD・DVDのご案内＝

12月の読み聞かせ会

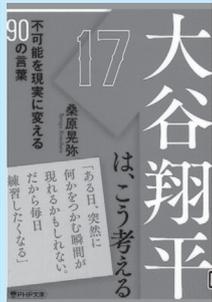
日時 12月16日(土)
11時～11時30分

申込は不要です。当日、図書館視聴覚室へお集まりください。

◎一般書

『大谷翔平は、こう考える』

桑原 晃弥



“世界の‘大谷’の強さの秘密とは？「先入観は可能を不可能にする」「期待は応えるものじゃなくて超えるもの」…。野球を始めた頃から2023年WBC優勝までの大谷翔平の発言を厳選し、その言葉の背景やエピソードを解説。

『ヒロイン』

桜木 紫乃

『ぎんなみ商店街の事件簿 BROTHER 編』井上 真偽

『ぎんなみ商店街の事件簿 SISTER 編』

『詐欺師の誤算』

笹倉 明

『逝きたいなピンピンコロリで明日以降』

『もうすぐ50歳、調子のいい日がほとんどありません』

《トピックス》

『駒ヶ嶺小学校2年生・福田小学校2年生が
図書館見学学習に来ました』



▲駒ヶ嶺小学校



▲福田小学校

駒ヶ嶺小学校と福田小学校の2年生のみなさんが、図書館に見学学習に来ました。

図書館の使い方や、閉架書庫の仕組みをしっかりと学びました。

◎CD

『ALWAYS YOURS』

セブンティーン

『COFFEE BREAK JAZZ -EVENING BREND-』

◎DVD

『峠』

『バズ・ライトイヤー』

広報しんち R5.12.5 (13)

◎児童書

『ドラえもんどこでも英語』

藤子 F 不二雄



「ドラえもん」から9作品を厳選し、1ページごとにドラえもんたちのセリフから日常会話でよく使われるものを1～2文、英語にして解説。

英語を学びながら同時にまんがも楽しむことができる。

『恋愛相談』

森川 成美

『おもちゃぺったん』

おいかわ ゆかり

『やまをうごかしたミン・ローさん』

『スマホアプリはなぜ無料？』

『感動文庫』

『大人になってこまらないマンガで身につく伝わる話し方』

《展示コーナー》

『閉架書庫展』 1月21日(日)まで

・書庫の本を一部館内で展示・貸出します。
この機会にぜひご利用ください。

『クリスマス』

～サンタさんへのおねがい～

12月24日(日)まで

・クリスマス短冊に願いごとを書いて、ツリーに飾りましょう。クリスマスの料理や飾りつけなど、イベントに役立つ本の展示・貸出も行います。

『季節のおすすめ絵本』

～クリスマス・年越し・お正月・十二支～

12月27日(水)まで

図書館カレンダー (12月)

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31	1/1	2	3	4	5	6

■は休館日

ホームページ
はこちら



図書館HP

◎問い合わせ 図書館 (電話：62-5031)

保育所から
こんにちは
駒ヶ嶺保育所

「ことば」って大事だね 感情を伝え合うコミュニケーション

ことばによる伝え合い

成長と共に育つ言葉。「ことば」は感情を伝え合うコミュニケーションの一つとされています。

うれしい言葉と

悲しい言葉

友だちと関わって遊ぶ中でトラブルは付きものです。例えば「貸して」の言葉に対して、子どもたちからはいろいろな返事が聞かれます。「いいよ」と言われたらうれしくなりますが、「ダメ」「イヤ」と言われると悲しくなります。そこからけんかになることも。まだ貸したくない時は「ダメ」ではなく「まだ使っているからあとでね」など



と友だちに伝えてみるようアドバイスしています。自分が言われて嫌な気持ちになる言葉は使わないように知らせています。

ことばの習得は周囲の環境が大事

近頃「ユーチューブの影響で間違った言葉を覚えてきた」という声をよく聞くようになりました。子どもたちは様々なものから影響を受けやすく、すぐに吸収してしまいます。意味も分からず使っていることもあるので、間違った言葉を話していたときは、正しい言葉を教えてあげましょう。言葉は絵本や人などとの豊かな関わりの中で育まれます。吸収しやすい時期に、周りの大人も言葉遣いに気をつけながら、できるだけたくさんの方の言葉を使って子どもとの会話を楽しんでみましょう。



自分の考えや思い、感情を伝え合う「ことば」を大切に育てていきたいですね。

子どものつぶやき

5歳児女児

天気の良い日に

「せんせー 日にあたっていることをひなたごっこっていうんだよ!」

と教えてくれました。

12月の行事予定

●保育発表会

9日 各保育所(3歳以上児)

●育児サロン

※ご要望に応じて随時受付しております。





「応急処置のお話と 消防自動車見学」

さわやかな秋晴れの10月。今回は児童館から一歩外へ出て「相馬消防署新地分署」の見学へ出発です。

はじめに事務室内にある救急時の電話対応の設備を見学しました。車庫の中には、あらゆる消火活動に対応できるようにホースなどの様々な備品が収納されているところも見学しました。

その後、子どもに多い発熱・誤飲・やけど・けがなどの応急処置について消防士の体験談も交えながらお話を伺いました。誤飲を防ぐために「子どもが飲み込みそうなものを近くに置かないこと」、夜間に突然子どもの具合が悪くなった場合は、「救急電話相談

『#8000』（固定電話や携帯電話による短縮ダイヤル）の利用ができること」を教えていただきました。

また、「育児は負担と最もよく聞くが、育児とは、本来楽しく、夢とやりがいがあるもの。」「普段からお子さんに愛情を持って接し、状態を把握していれば、いつもと違う様子に気が付くのは難しいことではありません。」「子どもの異常の発見のポイントも教えていただきました。

最後に子どもたちが楽しみにしていた「消防自動車」を見学しました。実際に触れたり、運転席を覗いたり興味津々の子どもたち。車内にあるたくさんの操作ボタンにも驚いた様子でした。

ている新地分署のみならず。貴重な体験をさせていただけ、ありがとうございました。



たんぽぽひろばの予定

月日	内容	場所
12月6日(水)	クリスマス飾りを作ろう	児童館
12月20日(水)	楽しいクリスマス会	児童館

※参加には事前の予約が必要です。
※詳しくは新地町ホームページ内「子育て支援サイト」をご覧ください。

ホームページ
はこちらから



子育て支援
サイト HP

新地町児童館ご利用案内

開館時間 月曜から土曜 10時から18時
休館日 日曜日・祝日・年末年始
午前 なかよしひろば（月曜から土曜）
たんぽぽひろば（月2回）
午後 児童クラブ

※土曜・長期休業期間は8時から18時

◎問い合わせ 児童館（電話：62-4432）

母と子の健康スケジュール

健康診査等	対象者	日時（受付時間）
母子手帳交付	妊娠とわかったら、なるべく早く母子手帳の交付を受けましょう。	12月15日(金) 1月5日(金) 9:00～10:00
離乳食相談会	5年5月～8月生	1月9日(火) 9:45～10:00
3歳児健診	2年7月～9月生	1月15日(月) 13:00～13:15
ベビーとママのリフレッシュ体操	生後2か月から1歳の誕生日を迎える月までのお子さんとその家族	12月26日(火) 10:00～11:00

◎問い合わせ・会場 保健センター（電話：62-2096）
※乳幼児健診の際には、『母子手帳』『バスタオル』『問診票』を持参してください。当日体調が悪い場合や、都合の悪い方は、保健センターにご連絡ください。

新地町のみなさま、こんにちは。あっという間に年の瀬となってしまいましたが、本年もたくさんの新地町の方々にお世話になりまして本当にありがとうございました！来年は、さらに多くの方とつながり、まちづくりの大きな輪を描くことができると願っております。UDC しんちを引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

【活動報告】

10月19日(木)

尚英中学校3年生が、東大の井原先生と一緒に環境やエネルギー分野を探求する「尚英未来エネルギー倶楽部」が本年も始まりました。2024年3月までの全6回の部活動を、今年は7名の部員さんたちと一緒に実施いたします。第1回は井原先生が尚英中学校を訪問して対面の授業が行われました。部員のみなさん、3月まで一緒にがんばりましょう♪



10月20日(金) - 21日(土)

井原先生が担当する「環境システム学輪講」の受講生7名が、新地町での現地実習に参加いたしました。今年度の演習は、再生可能エネルギーと農業の省エネルギー化がテーマとなるため、エネルギーセンターと新地駅前を視察したほか、(株)グランファームを訪問し先進的な農業経営を学ばせていただきました。視察にご協力いただいたみなさま、貴重なお時間をありがとうございました。



目白大学の土屋先生と学生2名が、町民のみなさまに新地町の買物事情について自由に語っていただく会をUDC しんちで開催いたしました。時には脱線しながらのおしゃべり会となりましたが、住民同士のつながりが新地町の買物事情を支えていることなど、次回につながる発見が多くありました。翌日は新地町や新地町周辺の商業施設を視察したほか、まあるの庭にお邪魔させていただき、新地語ってみっ会にも参加させていただきました。関係者のみなさま、活動にご参加・ご協力いただきありがとうございました。



10月22日(日)

昨年度の環境システム学輪講受講生が、郡山市で開催された土木学会で論文「フリーGISソフトを用いた特定地域の風況・風力導入ポテンシャルの簡易評価ー福島県新地町を対象としてー」の発表を行い、優秀学生発表賞を受賞しました。新地町のみなさまのご支援とご協力のおかげで立派な賞をいただくことができました。関係者一同、心より御礼申し上げます。



10月26日(木) - 27日(金)

東大柏の葉キャンパス(千葉県柏市)でキャンパス一般公開が開催され、UDC しんちのメンバーが福島・新地町ブースを出展しました。福島県にゆかりのある方も多く来場され、総計で約700名の方においでいただきました。同時並行で、キャンパス内の生協では「新地町いちじくフェア」が開催され、新地町産のアイスやようかんが来場者に大好評でした。町役場からお借りしたはっぴとのぼりのおかげで、柏地域のたくさんの方に新地町を知っていただくことができました。ありがとうございました。



facebook

UDC_SHINCHI
instagram

「遠足」

10月20日(金)、イオンモール新利府へ遠足に行きました。3年B組桑折ちづるさんは、「高校生活最後の遠足は、皆時間を守って行動し、楽しく終えることができました。友人と良い思い出をつくることができました」と感想を述べてくれました。



▲おもひの木月例会(黙祷)

「文化祭」

第11回はまなす祭は、11月2日(木)に開祭式(校内発表)、11月3日(金・祝)に一般公開、11月4日(土)には閉祭式を行い、盛況のうちに終了いたしました。ご来場くださった皆様に、改めまして御礼申し上げます。片付けの後には、新地校舎の伝統行事「芋煮会」を4年ぶりに実施しました。委員の生徒たちに、文化祭期間を振り返っての感想を聞いてみました。



3年A組 青田睦希

地域清掃では、地域に恩返しをすることができましたと思います。校内の有志発表が面白かったです。企画では、カフェを担当しました。最後の芋煮会も含め、楽しむことができました。



3年B組 穴戸夏蓮

マリオカートや企画の準備など、とても楽しく、良い思い出になりました。芋煮会では、火をおこすのが大変でしたが、皆と一緒に実施できて楽しかったです。

相馬総合高等学校新地校舎 特別講演

相馬総合高等学校新地校舎の特別授業が開催されます。

シンガーソングライターの声松 優一さん(千葉県船橋市出身)と舞台演出家の岡元 邦治さん(宮城県仙台市出身)2名をゲストにお迎えし、音楽・芸能を通じた地域づくりの現場について講演いただきながらライブ演奏など、会場のみなさんと一緒に音楽を楽しむ時間を創り上げます。入場無料でどなたでも参加いただけますので、是非お越しください。

日時 12月15日(金)

13時25分～15時15分(13時開場)

場所 町文化交流センター 観海ホール

相馬総合高等学校新地校舎 特別講演

地域づくり × 音楽・芸術活動

12月15日(金)
13:25～15:15
開場 13:00
新地町文化交流センター 多目的ホール

好きなことから始まる地域づくり
これから旅立つ相馬総合高等学校
新地校舎へ向けて

事前登録不要
入場無料
どなたでも参加可能

ゲスト

声松 優一さん
千葉県船橋市出身
シンガーソングライター
音楽イベントの主催や
ラジオパーソナリティも務め
音楽活動は多岐にわたる

岡元 邦治さん
宮城県仙台市出身
舞台演出家
ミュージカル俳優の後に
REDA舞神楽でスロデュサー
兼振付師としてチームを牽引

千葉県船橋市は、音楽を中心としたまちづくりに取り組んでおり、「音楽のまち・ふなばし千人の音楽祭」などスロ・アマ問わず音楽・芸術を広く表現し交流が盛んです。音楽家としての活動はもちろんのこと、船橋市の音楽に対する機運を盛り上げる中心的役割を担う一人である声松さんと、市民ミュージカルやよさこい踊りチーム「REDA舞神楽」(第32回札幌よさこいソーラン祭りにて優勝)のスロデュサー兼振付師の岡元さんに、音楽・芸能を通じた地域づくりの現場についてお話しして頂きながら、ライブ演奏やライブイベントなど、会場の皆さんと一緒に音楽を楽しむ時間を創り上げます。是非お越しください。

暮らしの情報



乾電池の回収について

町では年に4回有害ごみとして乾電池を回収しています。

回収ボックスに乾電池をナイロン袋に入れたままの廃棄や、ライターや電球等有害ごみの混入がみられません。

乾電池のリサイクル処分を行うにあたり、異物混入のまま処分ができないため分別作業を行うようになります。

廃棄する場合はナイロン袋に入れず、乾電池のみを乾電池回収ボックスに入れてください。

併せて有害ごみを捨てる場合には、決められた収集所に捨てるようにご協力ください。

今年度は12月・3月に回収します。詳しくは、ごみカレンダーをご覧ください。

◎問い合わせ

町民課 生活環境係
☎62-2116



年末年始の交通事故防止 県民総ぐるみ運動

年末年始の交通事故防止県民総ぐるみ運動が12月10日(日)から令和6年1月7日(日)までの29日間にわたって行われます。

この時期は、夕暮れ時から夜間にかけて交通事故が多発することから一人ひとりが交通ルールを守り、交通事故防止に努めましょう。

運動のスローガン

「なにで来た？」

乾杯前の

合い言葉

運動の重点

- 1 道路横断中の交通事故防止(特に、高齢歩行者の保護の推進)
- 2 夕暮れ時や夜間の交通事故防止
- 3 飲酒運転の根絶
- 4 自転車利用時のヘルメットの着用と交通ルールの遵守
- 5 全ての座席のシートベルトとチャイルドシート

◎問い合わせ

町民課 生活環境係
☎62-2116



さんきゅうパパとは

産後に休みを取る「さんきゅうパパ」が増えると、家族に、企業に、社会に、笑顔が増える。

「さんきゅうパパ」は産後に休みを取るパパのこと。「さんきゅう」は「産休」と「Thank you(ありがとう)」。

パパが休みを取ること、出産後のママに、生まれてきた我が子に感謝をしようという意味を込めます。

こども家庭庁では、配偶者の出産後2か月以内に半日または1日以上のお休み(年次有給休暇、配偶者出産時に係る特別休暇、育児休業等)を取得した男性の割合を、2025年に80%とすることを目標として休暇取得を推進しています。

配偶者の出産直後に休暇を取得し、家族との時間を過ごし、育児や家事に関わることで家族との結びつきが深まります。子育て家庭

を取り巻く環境には色々な課題がありますが、夫婦で話し合いながら、これまでの働き方や生活を見直し、家事や育児をするきっかけにしてみましよう。

※詳細については、こども家庭庁のホームページ(外部サイトヘリンク)をご覧ください。



こども家庭庁HP



Youtube 動画

◎問い合わせ
町民課 子育て支援係
☎62-2116



福島県地震・津波被害想定調査結果

福島県では、令和4年11月に新たな「地震・津波被害想定調査結果」を公表しています。

想定される地震が仮に発生すれば、甚大な人的被害、建物被害が生じる可能性があります。日頃から災害への備えを行っていたことで、被害を軽減することができます。

自分の命と大切な人の命を守るためにどんなことをすればよいか、今一度、考えてみましょう。詳細は「地震・津波災害対策のすすめ」をご覧ください。

◎問い合わせ

福島県危機管理部災害対策課
☎024-521-7194



わくわくランド イベント情報

【わくわくお正月飾り教室】

日時 12月23日(日)

10時30分～12時

13時30分～15時

※天候により、イベントを中止する場合がございます。

内容 新地発電所PRビデオ花材を使ってお正月飾り

場所 わくわくランド 多目的ホール

定員 各回25名 計50名

参加対象 どなた様でも

(小学生以下は保護者と2人1組)

講師 花遊民

吉田 広 氏

参加費 1組500円

応募方法

電話による先着受付

※12月7日(木)10時より受付

開始

申込の際の注意点

無断での当日キャンセル、参加者変更があった場合には今後のイベントへの参加ができなくなる場合がございます。

ございますのでご了承ください。

応募いただいた個人情報 は厳正かつ適正に管理し、本イベント以外の目的には使用いたしません。

◎申込・問い合わせ

相馬共同火力発電株式会社 新地発電所内

わくわくランド

☎62-4722

家族介護者教室

今回は、高齢者を介護しているご家族の健康づくりと心身のリフレッシュを目的として「健康講座」を開催します。参加は無料です。お気軽にご参加ください。

日時 12月14日(木)

13時30分～15時30分

対象者 ご家族を介護している方または、介護に関心のある方など。

内容 健康講話と交流会

「みんな元気にわくわく体操」

講師 岡崎 裕司 氏

(新地ホーム機能訓練指導員)

交流会(オレンジカフェ)

場所 新地町デイサービス

センターホール(新地ホーム内)

◎申込・問合せ先

新地町地域包括支援センター

☎62-5580

北朝鮮人権侵害問題啓発週間

1970年代から80年代にかけて北朝鮮により多くの日本人が拉致され、現在17名が拉致被害者として認定されています。

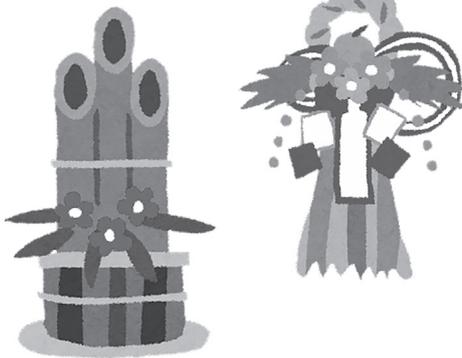
拉致問題は喫緊の国民的課題であり、この問題についての関心と認識を深めていくことが大切です。

福島県では、12月11日(月)から15日(金)まで県庁本庁舎・西庁舎の渡り廊下において拉致問題に関するパネル展示を行います。ぜひご覧ください。

◎問い合わせ

福島県生活環境部男女共生課

☎024-521-7188



⚠ 火入れや野焼きに注意しましょう ⚠

冬から春先にかけて発生する火災の多くが、たき火や火入れからの延焼火災です。この時期は空気が乾燥し風が強いため、火災が大規模化する恐れがあります。野外での火の取り扱いには十分注意しましょう。

【火入れ】

森林またはその周囲1kmの範囲内で立木竹、雑草、堆積物等を面的に焼却する行為で町長の許可が必要です。



火入れ許可の対象は次の目的に限られます。

- ①造林のための地ごしらえ ②開墾準備 ③害虫駆除 ④焼畑 ⑤採草地の改良

【野焼き】

枯れ草や廃棄物を焼却する行為で、一部例外を除いて法律で原則禁止されています。



【例外】

- ◆法令に基づく焼却・・・伝染病家畜、松くい虫被害伐木等の焼却
- ◆農林漁業のためにやむを得ない焼却・・・草、木の葉、もみがら、海藻等の焼却
- ◆風俗習慣上の行事のための焼却・・・どんと祭など
- ◆落ち葉の焼却その他の一過性の軽微な焼却・・・落ち葉焚きなど

また、例外で認められている野焼きであっても、火災と間違ふような煙が出る場合は、事前に消防新地分署まで届出をしてください。(野焼きを許可するものではありません)

なお、日没から日の出前、風が強い時、各種警報が発令されている場合は中止してください。

◎問い合わせ

火入れ	農林水産課 農林水産係	(電話：62-2194)
野焼き(煙や臭い等の苦情)	町民課 生活環境係	(電話：62-2116)
防火相談、揚煙行為について	消防新地分署	(電話：62-2117)
	総務課 総務係	(電話：62-2111)

令和5年12月開始

新型コロナワクチン集団接種（12月）実施いたします。

町では、令和5年秋開始接種として、国からワクチンの供給があったワクチン量で実施できる、64歳以下の下記の対象者に、新型コロナオミクロン株（XBB.1.5）対応ワクチン接種を行います。今回接種できなかった方には、今後ワクチンの供給が決まり次第、お知らせします。

対象者

初回接種（1・2回目接種）を完了し、集団接種を希望した64歳以下の方で

- ・基礎疾患がある方
- ・12～18歳の方
- ・ワクチンの希望を「モデルナ社」または「どちらでもいい」と回答された40歳以上の方
- ・ワクチンの希望を「ファイザー社」と回答された45歳以上の方

接種日程とワクチンの種類

日程	ワクチンの種類
12月21日(木)	ファイザー社
22日(金)	モデルナ社
23日(土)	ファイザー社



受付時間

12時50分から開始

※接種対象者には「新型コロナワクチン接種日時のご案内」を12月上旬に送付予定です。手元に届きましたら、ご確認ください。

接種会場

新地町保健センター・農村環境改善センター

接種日時の変更等

案内の日程で都合がつかない方は、ワクチン接種コールセンターに日程変更の連絡をしてください。

また、職場や他市町村で、すでに接種した方、接種をキャンセルする方も必ずご連絡ください。

その他

下記に該当する方で接種を希望する方は新型コロナワクチン接種コールセンターまでお問い合わせください。

- 原子力災害等により当町へ避難されている方（住所地から送付された接種券等の書類が必要です。）
- 他市町村でワクチン接種後に新地町に転入された方（接種券の発行申請が必要です。）
- 初回（1・2回目）接種を希望される方

問い合わせ

新型コロナワクチン接種コールセンター（保健センター内）（電話：62-3942）

10月分 ごみ収集量

町で収集している可燃、不燃、資源のごみの収集量です。
分別を行い、ごみの減量化に努めましょう。

(単位：kg)



◎問い合わせ

町民課 生活環境係

(電話：62-2116)

可燃ごみ	139,740	
不燃ごみ	8,360	
資源ごみ	ビン	4,030
	カン	1,760
	ペットボトル	1,140
	新聞	3,340
	雑誌	1,310
	ダンボール	2,810

町の昔話コーナー

《早川の長者様》

昔々、杉目に早川という長者様がいたたと。この長者様、蔵は三つもあって、下男下女を十人も使っている。たいそう裕福な長者様だったと。

何不自由のない暮らしをしていたたども、たった一つ。息子にもらった嫁に子どもが授からなかったと。嫁に来て、もはや三年が過ぎようとしているのに、子どもを授かる気配もないんだと。

「なんぼ美しい嫁様でも、跡取りができねえんではなあ」

「あの嫁様、見るからに華奢な体つきで、子どもが生めそうにねえものなあ」

「跡継ぎが生まれねえでは、早川の長者様も息子の代でおしまいだどなあ」

と陰で噂されていたたと。

長者様は、何とか孫を授けてもらいたいもんだと、鹿狼山に願掛けしたんだと。満願の夜、鹿狼山の神様が夢枕に立ったと。

「跡継ぎが欲しいのなら、嫁に精がつくように、鹿狼山のとろろ芋を掘ってきて、嫁に食わせてみろ」と言ったと。さっそく下男下女を総動員して、鹿狼山に登らせてとろろ芋を掘らせて、とろろ汁にして嫁に食わせたと。釣師浜のカレイも食わせたと。

そしたら、嫁様に精がついて、だんだん元気になってきて、次の年には子どもが生まれたと。長者様の喜びはただ事ではなかった。そしたつけその嫁様、次から次へ子どもを産んで、双子も生まれたもんだから、十年で十一人も生まれたんだと。

それで、今でも鹿狼山の名物はとろろ汁、釣師浜の名物はカレイなんだと。今が今でも、早川の長者様の子孫は、鹿狼山のふもとで栄えているんだと。

新地語ってみっ会では、語り部による昔話や紙芝居など毎月第3土曜日 13時30分から二羽渡神社南、おがわ観海堂（小野俊雄宅離れ）にて参加費無料で、公開しています。興味のある方はぜひご参加ください。

◎問い合わせ 新地語ってみっ会（電話：62-2441）

誕生おめでとう

(令和5年10月21日～令和5年11月20日届出)

(子ども)	(親)	(地区)
悠 利	高口雄太郎・愛理沙	中 島
結 人	伊藤 勝 ・八重子	小 川
		(敬称略)

掲載を希望しない方は、届出のときにお申し出ください。

ご冥福をお祈りします

(令和5年10月21日～令和5年11月20日届出)

(名前)	(年齢)	(地区)
森 成子	93歳	明 地
目黒 陽一	85歳	木 崎
長倉 年勝	80歳	作 田
高田 モヨ	93歳	作 田
星 テルヨ	101歳	小 川 (特養)
武沢 一洋	78歳	雁小屋
菅野 強生	91歳	今 泉
八巻 トミ	87歳	高 田
木村 榮子	91歳	渋 民
		(敬称略)

掲載を希望しない方は、届出のときにお申し出ください。

今月の納付

固定資産税	第4期
国民健康保険税	第6期
介護保険料	第5期
後期高齢者医療保険料	第5期

12月25日(月)までに納付、または引落口座残高の確認をお願いします。

◎問い合わせ

税務課 (電話：62-2119)
健康福祉課 (電話：62-2931)

人の動き

福島県現住人口
調査月報に基づく

人口 /	7,639人	(-14)
男 /	3,826人	(-6)
女 /	3,813人	(-8)
世帯数 /	2,786世帯	(+1)

11月1日現在 () は前月比

働きたいネットからのお知らせ

【出張求職者カフェ】

ハローワーク相馬に求職者カフェがやってきます！就職活動に役立つ支援が無料で受けられます。ぜひお越しください。

日時

12月20日(水) 9時～12時

場所 ハローワーク相馬
2階会議室

支援メニュー

・証明写真撮影※撮影希望

の方はスーツ等の着用がおすすめ！貸出用ジャケット有・応募書類作成・面接対策・適職診断 等

ホームページ
はこちらから



出張求職者カフェ
HP

◎問い合わせ

福島広域雇用促進支援協議会
☎024-524-2121

手むすびカフェ 12月の開催日

障がいのある方やそのご家族の方が、気兼ねなく相談やふれあいを行えるよう、毎月一度集いの場を開催しています。

開催日 12月21日(木)

開催時間 13時30分～15時

開催場所

町文化交流センター会議室

◎問い合わせ

ウィル生活・相談支援センター
☎080-6897-7515

【おしごと相談会 12月】

ふくしま生活・就職応援センターでは、「おしごと相談会」を開催します。相談は無料です。

日時 12月21日(木)13時30分～15時30分

場所 新地町役場 1階 101相談室

内容 就職活動に対する相談や履歴書、職務経歴書の書き方等

申込方法 事前予約が必要です。

◎申込・問い合わせ

ふくしま生活・就職応援センター南相馬事務所
(電話：23-1239)

【12月のオレンジカフェ変更のお知らせ】

新型コロナワクチン接種のため、以下のとおり変更します。

日時 12月14日(木)13時30分～15時30分

場所 新地町デイサービスセンターホール

※家族介護者教室終了後にオレンジカフェを開催

◎問い合わせ 新地町地域包括支援センター
(電話：62-5580)

むし歯^{ゼロ}の子どもたち



10月16日の3歳児健診では、
むし歯ゼロの子どもは10名でした。

※掲載希望のあったお子さんのみ掲載しています。



伊達 倫登くん
(中島)



松下 楓ちゃん
(中島)



山根 望実ちゃん
(岡)



猪狩 友杜くん
(岡)



草野 志穂ちゃん
(上真弓)



星 遼河くん
(藤崎)



齋藤 陽香理ちゃん
(今神)



穴戸 洵斗くん
(大戸浜)



角 明怜くん
(小川)



天沼 律くん
(小川)

日本一早い山開き

第43回鹿狼山元旦登山

令和6年1月1日(祝)

【日の出予想時刻】 6時50分頃

【登山所要時間】 約40分～50分

※数量限定で記念品をプレゼントします

◎問い合わせ 町観光協会 (電話：26-3720)

